

バイオセラピー学 特別研究総合演習（二）（2単位）

担当者氏名 小川 博・佐々木 剛・宮本 太・御影雅幸・山口裕文・太田光明・浅野房代・土田あさみ・
増田宏司・松林尚志・三井裕樹・川嶋 舟・松嶋賢一

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

各専修指導教授および授業担当教員の指導の下で本総合演習（一）を基礎とし、専攻指導教授および授業担当者との前年度の研究成果の確認および得られた成果の評価と問題点の抽出を行う。これらの結果を受けて学会での口頭・ポスター発表を実施するための討論を重ね、実施する。またこれまでの研究成果（学部卒業論文・修士論文）の学会誌への投稿を行うための討議を重ねることにより、研究者としての資質を磨き、博士論文作成のための基礎作りおよびバイオセラピー学専攻の理念と哲学を構築することを目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

野生動物学	伴侶動物学	植物共生学	人間植物関係学
動物介在療法学	植物介在療法学	プレゼンテーション	論文作成

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	講義の進め方	本講義の意義, 進め方	◎本講義では、指示された内容について事前に準備を行う◎担当教員から指摘事項や助言が与えられるので、その内容を参考に研究を実施、改善すること。
2	研究成果の評価 (1)	研究成果の精査	
3	研究成果の評価 (2)	学会発表による成果の公表と評価	
4	研究成果の評価 (3)	発表成果の評価の検証、修正	
5	研究成果の公表	論文概要の検討	
6	共著者への対応	共著の場合、分担部分の調整	
7	投稿雑誌の選択	論文の投稿先の検討	
8	投稿規定の確認	投稿雑誌の投稿規定の理解	
9	本文執筆 (1)	図表作成, 投稿規定に則った書式の確認	
10	本文執筆 (2)	本文執筆, 投稿規定に則った書式の確認	
11	本文執筆 (3)	投稿規定に則った書式による原稿の作成	
12	投稿	電子投稿、郵送等規定に則った媒体による原稿の送付	
13	審査結果への対応 (1)	査読結果の理解と対応の検討	
14	審査結果への対応 (2)	論文の修正、反論等、論文の受理まで対応	
15	原稿の校正法	校正用原稿の校正方法	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）
適宜、必要に応じて指示する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）
バイオセラピー学入門/林良博・山口裕文編著/講談社(2012)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

中間発表の内容により評価する

◆オフィスアワー

毎週月曜日と火曜日の2限に研究室で質問等を受け付ける（小川）。

◆その他受講上の注意事項